

**第47回 日本がん疫学・分子疫学研究会総会  
(2024年9月3日、名古屋市)の御案内 (第1報)**

- 会期： 2024年9月3日（火）（1日間）
- 会場： ウィンクあいち  
(愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38、JR名古屋駅から徒歩5分)
  
- テーマ：研究間の協同によるエビデンス創出
- 大会長：若井 建志（名古屋大学大学院医学系研究科予防医学分野）

シンポジウム「研究間の協同によるエビデンス創出」

現在の疫学研究、とくに分子疫学研究では、大規模なコホート研究やバイオバンクといえども単独の研究では解析対象者数が十分とはいえず、コンソーシアムなどの共同研究により、非常に多数の解析対象者数でなくては得られないエビデンスが次々と発表されています。日本においても近年、がん疫学・がん分子疫学のコンソーシアムによる研究が活発になっています。

そこで総会テーマをタイトルとしたシンポジウムでは、日本の代表的ながん疫学・がん分子疫学のコンソーシアムとして、1. 科学的根拠に基づくがんリスク評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究（がん予防研究班）、2. 日本分子疫学コンソーシアム（J-CGE）、3. 日本ゲノムコホート連携（JGCA）、4. Asia Cohort Consortium（ACC）、それぞれの代表または中心メンバーの方をお招きし、コンソーシアムの内容、主な成果（今後の場合はこれまでの進捗状況）、今後の展望についてご発表いただくとともに、これらのコンソーシアムに複数参加され、その成果例をご発表いただける研究者にもご発表いただきます。

■シンポジスト（所属、コンソーシアム／発表内容）

- Sarah K. Abe（国立がん研究センターがん対策研究所予防研究部  
— Asia Cohort Consortium）
- 井上 真奈美（国立がん研究センターがん対策研究所— 科学的根拠に基づく  
がんリスク評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究）
- 岩崎 基（国立がん研究センターがん対策研究所疫学研究部  
— 日本分子疫学コンソーシアム）

清水 厚志（東北大学東北メディカル・メガバンク機構

ー 日本ゲノムコホート連携)

松尾 恵太郎（愛知県がんセンター研究所がん予防研究分野

ー コンソーシアムによる研究成果例)

■特別講演

演者：若井 建志 [名古屋大学大学院医学系研究科予防医学分野]

文部科学省科学研究費『コホート・生体試料支援プラットフォーム』による  
研究支援、とくに日本多施設共同コホート（J-MICC）研究の解析テーマ公  
募、 JACC Studyのデータアーカイブについてのご紹介]

■一般演題（口演およびポスター発表）

・演題募集期間（予定）

2024年5月15日～6月14日